

1. 指定管理者名	公益財団法人 多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	平成23年 4月 1日 ～ 平成28年 3月31日
3. 業務の範囲	(1) 図書館法第3条各号に規定する事項に関すること。 (2) 図書館の施設及び設備の維持管理に関すること。 (3) 市史販売等に係る料金の徴収に関すること。 (4) 読書の普及活動及び読書団体の支援に関すること。 (5) 図書館法第2条に掲げる目的のために必要な事業の運営に関すること。

4. 採点表		評価項目		細目		配点	採点基準		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値	95%未満～85% 3点	年次報告書P.171,184(利用率・利用人数) ※平均値比●% =(H25度実績)÷(過去2年間実績平均値)) 開館日数:299日(H23:295日、H24:298日) <1日当たりの貸出冊数> 図書館本館:平均値比92% =2,088冊÷2,277冊 子ども情報センター:平均値比107% =144冊÷135冊	3点				
			②利用人数	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	・図書館本館:平均値比(92%)=利用冊数(624,432冊)÷675,112冊(上記(2)適用) ・子ども情報センター:平均値比(108%)= 利用冊数(43,141冊)÷39,837冊(上記(2)適用)	95%未満～85% 3点	図書館 3点 子ども情報センター 5点 ※ 点数の比率を2施設の指定管理料の割合で計算(図書館本館:子ども情報センター＝8:2) 総合点 3.4点	3点				
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15)		15	仕様書以上:15～12点、仕様書に忠実:11～9点、仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、それ以下:2～0点	【図書館】 年次報告書P173～179(文化事業一覧) ・多治見市文芸祭 【子ども情報センター】 年次報告書P187～190(文化事業一覧) ・子ども情報センターまつり	仕様書に忠実 11点	適正に実施されている 図書館本館 11点 子ども情報センター 11点	11点				
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)		15	内容・事業数等が期待以上:15～12点、内容・事業数等が例年通り:11～9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8～7点、内容・事業数等が例年より劣る:6～3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る 2～0点	【図書館】 年次報告書P173～179(文化事業一覧) ・岐阜県立多治見病院患者図書室、保健センター等の連携事業(医療情報コーナーの充実) ・ながせ商店街との連携事業(地域の魅力を掘り起こす) ・企画展示事業 本・知識・情報へアクセスしやすい図書館への取り組み(公衆無線LANサービスの開始、館内検索機からの予約手続き開始ほか) 【子ども情報センター】 年次報告書P187～190(文化事業一覧) ・中学生・高校生の活躍の場(たじみオープンキャンパスU-19) ・わくわく親子講座 ・部活サポート事業 ・企画展示事業	期待以上 12点	【図書館】 ・岐阜県立多治見病院との連携を機に健康医療情報を充実させることができた。 ・目が見えにくい方への読書支援を行うことができた。 ・商店街や大学、まちづくり株式会社と連携して、多治見市や商店街の歴史を調査し、地域資料をまとめることができた。 ・陶磁器資料を充実させ、地場産業に携わる若手陶芸家への支援となった。 【子ども情報センター】 ・子ども情報センターまつりで中学生・高校生の活躍の場を提供。 ・絵本と初めて出会う図書館として「えほんのひろば」を開催し、316人の参加があった。 ・テーマ展示を年間36回開催。「徹底的に利用しやすい図書館」をめざし、貸し出し人数、冊数ともに前年を上回った。 図書館本館 12点 子ども情報センター 13点 ※ 点数の比率を2施設の指定管理料の割合で計算(図書館本館:子ども情報センター＝8:2) 総合点 12.2点	12点				
	(1)施設管理業務の実施状況(10点)		①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	本館:年次報告書P171(維持管理業務) 子ども情報センター:年次報告書P185(維持管理業務) 定期清掃、日常清掃を実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点				
			②保守・点検			本館:年次報告書P171(維持管理業務) 子ども情報センター:年次報告書P185(維持管理業務)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。					
			③保安・警備			本館:学習館があわせて実施 子ども情報センター:機械警備業務を委託して実施(毎日)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。					
			④小規模修繕			本館:年次報告書P172(有償修理の内訳) 有償修理 全6件 総額 314,356 円 子ども情報センター:年次報告書P186(有償修理の内訳) 有償修理 全11件 総額 575,120 円	適正(普通) 2点	適正に実施されている。					
			⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			特になし	適正(普通) 2点						

2	施設管理状況 (25点)	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	市に準拠した方法で管理している(ファイリングシステム)。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	12点
			②環境への配慮			【図書館】 ・館内6箇所に壁掛扇風機を設置し、空調設備と併用する事で冷房効果を高め省エネに努めた。 ・音消し目的の無駄な利用を防ぐため、女子トイレの全個室に擬音装置を設置した。 ・無人時の事務所、閉架書庫等の消灯、空調の温度管理の徹底で省エネに努めている。 (子ども情報センター) ・敷地内の緑化スペースを確保し、植木の剪定や花壇の整備をしている。 ・1階図書室窓の網戸を活用し、自然の風を取り入れることで空調に頼らない室内環境を心がけている。窓にはUVカットのシートを張り、ブラインドを全開にすることで、時間によっては3/5の蛍光管を消灯できるようになり、節電効果につなげている。	期待以上 3点	両館ともに省エネに努めており、評価できる。	
			③バリアフリー			【図書館】 ・カウンターに杖の置き場としてステッキホルダーを設置。 ・色が識別しづらい利用者のために、陶磁器関連資料の色分け分類を文字表示に変更。 ・文字が見づらい利用者へ録音図書を出し、来館が困難な視覚障がい者へは郵送するサービスを実施。 【子ども情報センター】 ・道路から玄関までのスロープに危険がないかどうか毎日チェックし、安全性を確認している。 ・ベビーカーの置き場所を広く確保し、スムーズに館内へ入ることができるようにしている。	期待以上 3点	適正に実施されている。 文字が読みづらい方へのサービスやインターネットサービスの拡大などソフト面でのバリアフリーも進めている。	
			④備品管理			【図書館】 ・備品台帳により、故障や外観の点検を行い適正に管理をしている。 【子ども情報センター】 備品はすべて定位置を決めて保管し、必要以上に在庫を持たないことで、管理棚の省スペース化を徹底している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑤個人情報保護			多治見市文化振興事業団「個人情報保護方針」に基づき実施している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑥事故等への対応			0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	特になし	
3	当該施設の経営状況 (5点)		①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入133,310,601円÷支出118,357,332円＝113%	105%以上 5点	指定管理委託料の範囲内で適正に事業が行われている。	5点
4	より良い施設運営のための取組	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、適正(普通):7～5点、不備あり:4～1点	【図書館】 ・文字情報の多い掲示物を階段踊り場から、より見やすい2階壁面に移動した。 ・新刊案内板の前に机を設置し、すぐ予約カードの記入をできるようにした。 ・初めての来館者にも館内の本の場所がわかる案内図を作成した。カウンターでの資料問合せ時の案内にも活用している。 ・子どもの目線の位置にトイレや水飲み場の案内表示を設置した。 ・バスの待ち時間に来館する図書館利用者のために、コミュニティバス、東鉄バスの時刻表を3階カウンター付近に設置した。 ・カーリルタッチスタンド型タグを新設することで、ICタグの読み取り速度を向上させた。 ・館内使用に限っていたデジタル録音機の館外貸出を開始。福祉関連のボランティア活動者の支援を行った。 ・インターネット及び館内検索機からの在架資料も予約できるようにした。地下書庫や場所がわかりづらい資料への利用啓発になり、忙しい年代の利用者層に好評である。 ・館内にWi-Fiスポットを新設し、Wi-Fi対応機器のインターネット通信ができるようにした。 【子ども情報センター】 ・リトミック(子どもの身体を動かす講座)のご要望が多々寄せられました。単発の講座にて開催し、26年度は、クリスマス会など行事と合わせて開催できるよう企画しています。 ・図書室内の本の分類がわかりづらいとの要望があり、見出し板としてのフラッグを鮮やかなカラーで新調した。児童コーナーは、ひと目でイメージしやすいシルエットを記載することで、本が探しやすくなった。 ・たじみ子どもの権利の日事業「えほんのひろば」にて、面展示台に表紙を見せて絵本を並べていたので、絵本が選びやすくて借りやすいと好評だった。事業終了後も「ミニえほんのひろば」としてコーナーを作り継続している。	期待以上 8点	さまざまなニーズに迅速かつ適切に対応し、利便性向上につながった。	8点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは4点とする	【図書館】 ・利用者から資料未返却の指摘を受け、再発防止策として返却処理手順の見直しを行った。 ・館内に設置されている「利用者の声」に寄せられた投書については館長と担当職員が対応し内容は全員が周知している。 【子ども情報センター】 自主学習で使用中の学生から2階研修室の安定器の音がうるさいという苦情がありました。劣化によって音が大きくなっていたため、安定器を交換しました。	苦情なし・適正(普通) 4点	苦情に適切に対応した。	4点

